

岡崎嘉平太記念館



Vol. 27

だより

生誕120年記念

岡崎嘉平太氏顕彰シンポジウム

受け継がれる「信」と「愛」

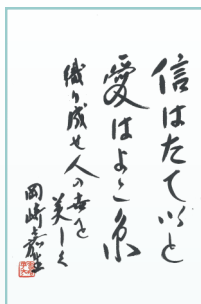
～織り成せ人の世を美しく～

平成29年(2017)4月27日

会場:山陽新聞社さん太ホール

主催:岡山県、山陽新聞社

県郷土文化財団、当館



明治三〇年(一八九七)四月十六日の岡山県吉備郡大和村(現吉備中央町)に岡崎嘉平太氏が誕生しました。今年で生誕百二十年となることを記念して、その功績を顕彰するシンポジウムが、四月二十七日(木)に山陽新聞社さん太ホールにて開催されました。

第一部では大橋洋治氏(ANAホールディングス株式会社相談役)の基調講演。「岡崎先生と私と中国そしてANAの井戸を掘った人々」と題され、大橋氏が卒業論文テーマに「日中貿易論」を選択したことをきっかけとし、当時全日空の社長であった岡崎氏の元を訪問したこと。氏の日中関係にかける熱い思い、社長室のドアがいつも開いているオープンな社風に惹かれてANAの入社試験を受けようと決めた経緯。全日空の発展の礎を築き、多くの若手社員を育てた氏の思いを引き継ぎ、自らも次世代へ継承していききたいと話されました。

第二部では朱金諾氏(全日空マーケティング室常任理事)、守分宣氏(精義塾理事長)、松田久氏(両備ホールディングス代表取締役)、李彦銘氏(東京大学特任講師・岡崎嘉平太国際奨学財団第十六期生)がパネリストとして、藤原健史氏(山陽新聞社論説委員会主幹)をコーディネーターとしてパネルディスカッションが行われました。朱金諾氏は岡崎氏の訪中百回の内、三十回以上を通訳として同行。当

時の貴重な写真を紹介。末永い日中友好のために、岡崎氏は訪中の度に必ず若い人を同行したことを話されました。岡崎氏も学生時代を過ごした東京に現存する岡山県人寮「精義塾」の塾外員(卒業生)である守分宣氏と松田久氏からは、塾報の文中で岡崎氏が創造性の大切さを後輩へ説いた事、氏との深い関わりを紹介。また、松田氏からは岡崎氏の自筆原稿を寄贈して頂戴しました。松田氏が在塾時代に塾報編集をされた事から長年保存されていた貴重な品です。李彦銘氏は岡崎嘉平太国際奨学財団第十六期生であり、現在は日中関係と中国の政策決定を研究。日中貿易は岡崎氏が両国がお互い何を必要とし、何ができるかということをよく考え知っていたからこその発想であるとの見解を示されました。

第三部はゆかりの方々からのメッセージが朗読されました。岡崎氏の長男である岡崎彬氏からは父がもし生きなければこんなことを伝えたいのではないかと、というメッセージが寄せられました。世界では局地的な紛争が起きているが、日本は近隣諸国と地に足のついた本当の友好関係を確立し、平和を地球全土に広げていくためにも日本がイニシアチブを取るようになって欲しいとの願いが伝えられました。シンポジウム当日は会場に約三百名が来場し、盛会のまわりに終わりましたこと、皆様に厚く御礼申し上げます。

岡崎嘉平太国際奨学財団27期生来館 平成29年6月2日



大和小学校で給食



吉備中央町山本町長も一緒に



みんなで記念写真!



岡崎家の墓参



野山の会の方々に教えてもらいました



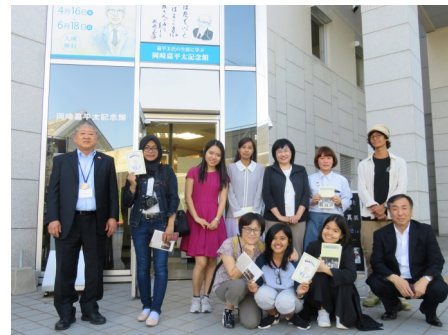
植樹した桜と



嘉平太氏揮毫 望郷の碑の前で



熱心に見学中



岡崎嘉平太記念館で集合写真

岡崎嘉平太国際奨学財団の第27期生が、岡崎氏のふるさとである吉備中央町を訪れました。

嘉平太氏の母校 大和小学校での交流

大和小学校で生徒のみなさんと一緒に給食をいただきました。食後はグループに別れてボールを使ったゲームで遊び、心のこもった手作りかぶとをプレゼントされるなど、生徒の皆さん、地元の方々との交流を大いに楽しみました。

大和山(おおわさん)で記念植樹

岡崎家の墓参を行い、ふるさとの象徴である大和山山頂で桜の記念植樹を行いました。大和山・野山の会の皆さまには植樹の下準備、水やり、桜の管理などで長年協力して頂いています。皆さまの協力の下、無事に桜を植樹、記念のネームプレートも

設置して記念撮影。天候に恵まれ、素敵な笑顔が光りました。植樹後は、上田玄明氏の工房で備前焼の土ひねり体験をさせて頂きました。全員でお皿をつくり、焼き上がりをとても楽しみにされていました。

岡崎嘉平太記念館研修

岡崎氏の遺志を継ぐ奨学生の皆さんは、熱心に氏が実際に使用していた数々の遺品、写真を見ながら何度も質問が上がり、意欲的に学ばれました。

27期の奨学生は男性2名、女性5名の計7名。出身国は中国1名、タイ2名、インドネシア2名、ミャンマー2名です。残念ながら男性2名が当日交通ラブルに遭い、研修に来ることができませんでした。また吉備中央町で交流の機会があれば幸いです。

第11回 嘉平太が愛したふるさと岡山写真展開催

嘉平太氏が愛したふるさと岡山のよさを伝えたいという思いで、毎年公募による写真展を開催しています。今回の応募数は、169点でした。岡崎嘉平太氏の生誕120年にあたる本年は、氏の生誕日である4月16日(日)から6月18日(日)まで記念館で開催しました。

最優秀賞 豊福義一『神馬走る』



平成29年3月25日(土)に、長瀬正己先生(山陽新聞社写真映像部)、森山知己先生(日本画家)、勝野将之(岡崎嘉平太記念館館長)による厳正な審査をが行われました。入賞者及び入賞作品は次の通りです。(敬称略)

最優秀賞	豊福義一『神馬走る』
優秀賞	中原廣明『氷下の彩り』
優秀賞	野口繁男『祭りの世話役』
審査員特別賞	神崎由子『三山(さんざ)の灯』
審査員特別賞	高橋正巳『呑む』
審査員特別賞	堀 紘治『総おどり』
入選	高坂裕午『古里の小径』
入選	齊藤貞雄『春宵の美観地区』
入選	芝 次昇『境内の朝』
入選	高橋克美『吉備路の夕刻』
入選	田中泰生『少年たち』
入選	西島和子『伯備線に花桃咲く』
入選	馬場 琢『紅葉を満喫』
入選	宮本康雄『目覚め』
入選	虫明正志『秋色』
入選	吉田昌康『静閑の時』

表彰式

平成29年5月7日(日)に表彰式を開催しました。出席くださった皆様と記念写真を撮影しましたのでご紹介します。

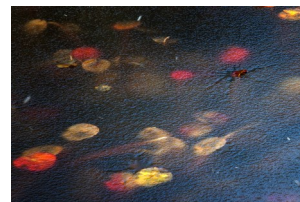


(前列左から高橋(正)氏、野口氏、森山先生、豊福氏、中原氏、神崎氏、堀氏。後列左から齋藤氏、芝氏、田中氏、西島氏、虫明氏、吉田氏、勝野館長)

表彰式での講評(抜粋) 森山知己審査員

この写真展の第1回目から審査を務めています。どの作品をとっても入賞作品に遜色無くなってきた。その中で、入賞となった16点を選考したポイントは、これを見せたい、撮りたいというのが伝わる構図を欲張りすぎでない作品であること。最優秀の『神馬走る』は、流し撮りという難しい撮影方法だが、被写体にしっかり焦点が合っている。馬が疾走しているその一瞬、“動”が切り取られている1枚。優秀賞野口氏の作品も同じく、男性の柔和な笑顔の一瞬を逃さず撮影された写真らしい写真である。中原氏の作品は逆に“静”の絵画的な雰囲気であり、これが良いという中原氏の感性が素晴らしい。

中原廣明『氷下の彩り』 野口繁男『祭りの世話役』



岡山県天神山文化プラザで写真展開催

平成29年7月18日(火)～23日(日)の5日間、岡山市北区の岡山県天神山文化プラザに会場を移して写真展を開催します。ぜひご来場下さい。

■時間 9:00～17:00(※最終日は16:00まで)

■住所 岡山市北区天神町8-54

新任ご挨拶



写真左端が渡辺総括主幹

6月から岡崎嘉平太記念館勤務になりました、渡辺智美と申します。これまで岡山県郷土文化財団の事務局で仕事をして参りました。記念館には講演会など催しの際、応援に来ておりましたので、このたび記念館勤務となったことを大変嬉しく思います。

ちょうど10年前、嘉平太先生の生誕110年を記念して、嘉平太先生のご長男彬氏ご夫妻のご案内で「岡崎嘉平太氏の中国での足跡を訪ねる現地研修会」として、郷土文化財団会員の皆さんと共に中国を訪ねたことが懐かしく思い出されます。

そして、今年は嘉平太先生生誕120年の記念の年です。ご遺族、吉備中央町の方々をはじめ、皆さんのお力をお借りながら、嘉平太先生のご生涯とその思想、そして数多くのご功績を、より多くの方々に知っていただけるよう、精一杯努力して参りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

秋の特別企画展9月22日より開催



▲記念(人民大会堂にて昭和46年) 最前列から5人が岡崎嘉平太氏、その右隣が記者を撮影

平成29年
9月22日(金)-12月27日(水) 入館無料

岡崎嘉平太記念館 [企画展示室]
開館時間:午前9時-午後5時(入館は午後4時30分まで)
◎毎週火曜日(但し11月24日(金)は休館)
主催(公財)岡山県郷土文化財団 岡崎嘉平太記念館



▲最前列(昭和46年)の最中撮影して(写真左)

岡崎嘉平太生誕百二十周年 日中国交正常化四十五年
岡崎嘉平太記念館 秋の特別企画展
岡崎嘉平太と
日中友好にかけた人々
受け継がれる 信と愛

本年は岡崎嘉平太生誕百二十周年、日中国交正常化四十五年という節目の年となります。これを機に本企画展では、改めて岡崎嘉平太氏の日中友好にかけた人生をたどり、学生時代に中国に留学した嘉平太氏の交流への思い、国交断絶時代には民間人として国交正常化に尽力、国交回復後も変わらず中国との交流を取り組んだ九十二年の生涯を振り返ります。また、岡崎氏とも日中国交正常化、日中友好に尽くした人々にもスポットをあて、その動向をたどりながら、歴史年表だけでは見えてこなかった「ストーリー」を、現在受け継がれている岡崎氏の遺志を待たず紹介いたします。

岡崎嘉平太記念館 〒716-1241 岡山県加賀郡吉備中央町吉川4860-6 tel.0866-56-9033 http://www.okazaki-kaheita.jp

第15回 おかざき県郷土文化財団館長事務

岡崎嘉平太記念館の上半期展示風景

【嘉平太塾展示】 岡崎嘉平太書「創造」のいま



1月28日～2月12日開催
大和小学校から岡崎嘉平太氏の書を借り受け展示。ミドリムシのバイオ燃料実用化に向けたANAの研究も紹介。

【嘉平太塾サイエンスショー】 楽しい科学いろいろ



2月1日開催
内田正夫講師(人と科学の未来館サイピア)の楽しいショーと科学解説に町内小学生たちの歓声が溢れました。

【特別展示】2017年は酉年！ 岡山県自然保護センター展



第9回嘉平太が愛したふる里の子ども作品展



両展示2月13日(月)～3月12日開催



編集・発行：岡崎嘉平太記念館

〒716-1241 岡山県加賀郡吉備中央町吉川4860-6 きびプラザ内

TEL 0866-56-9033 FAX 0866-56-9066

ホームページ <http://www.okazaki-kaheita.jp>

Eメール okmh@okazaki-kaheita.jp

2017年6月 発行